

福岡市科学館館長 矢原徹一講演会

私たちの遺伝子にひそむネアンデルタール人

ペーボ博士が解き明かした人類進化のミステリー

福岡市科学館では、矢原徹一館長による講演会を、ノーベル賞授賞式が行われる12月10日(土)に開催いたします。

ノーベル生理学・医学賞を受賞したスバンテ・ペーボ博士は、ネアンデルタール人のゲノム解読に成功し、人類学の発展に貢献しました。矢原館長は、人間がどうして科学や芸術を発展させて現在の文明を築けたのか、という謎を研究しています。ペーボ博士の研究がこの謎解きにどう役立つのか、わかりやすく解説します。

The Nobel Prize
in Physiology or Medicine 2022
Svante Pääbo

私たちの遺伝子にひそむ ネアンデルタール人

講師：矢原 徹一 (福岡市科学館館長)
ファシリテーター：工藤 茉莉 (福岡市科学館サイエンスコミュニケーター)

2022年
12月10日(土) 13:30-15:00
4階交流室1 | 入場無料

ノーベル賞
受賞式の
12/10に
開催!

子どももおとなもたのしめる内容です!

人類進化の研究には、まだ謎がたくさんあります。ペーボ博士はその一つの謎を解明し、約4万年前に絶滅した「ネアンデルタール人」の遺伝子情報が、現代の私たちのからだにも受け継がれていることを発見しました。この研究は様々な分野に影響を及ぼし、新型コロナウイルスに対する重症化リスクとも関係することが判明しています。

ペーボ博士の発見とは？人類進化の謎とは？矢原館長が、そのミステリーへと誘います。

講演会概要

講師：矢原 徹一 (福岡市科学館 館長)

日時：12月10日(土) 13:30~15:00

会場：4階交流室1 定員：先着30名(ホームページより事前申込制)

申込受付期間：11月20日(日)~ 12月7日(水) 料金：無料

講師 矢原 徹一(福岡市科学館 館長)

1954年福岡県生まれ。京都大学理学部卒。東京大学助手～助教授を経て1994年より九州大学教授、2020年3月に退職。同年10月より福岡市科学館館長。著書に『花の性』『決断科学のすすめ—持続可能な未来に向けて、どうすれば社会を変えられるか』『保全生態学入門—遺伝子から景観まで』(共著)。専門は生態学、進化生物学、持続可能性科学。

アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク議長として、国際的な生物多様性観測計画を推進。



福岡市科学館 開館5周年記念 館長対談12月、1月に連続開催！



福岡市科学館 矢原 徹一
×
国立科学博物館 館長
篠田 謙一 氏

福岡市科学館 矢原 徹一
×
JT生命誌研究館 館長
永田 和宏 氏



サルは将来ヒトになるの？ 日本人もアフリカから来たの？ ヒトはなぜサルみたいに毛むくじゃらじゃないの？

人類学の先生 生態学の先生

館長対談 子どもおとも楽しめる内容です

人間はおもしろい

～進化から見た人間のナゾ～

2022年 12月4日(日) 13:30-15:30 入場無料(要事前申込)

花はなぜきれいな？ 死なない細胞はあるの？ 青色の花と黄色の花を掛け合わせると何色になる？

細胞生物学の先生 生態学の先生

館長対談 子どもおとも楽しめる内容です

科学はおもしろい

～見方を変えれば不思議だらけ～

2023年 1月21日(土) 13:30-15:30 入場無料(要事前申込)

私たち人間がいかに不思議な生きものなのか。
みんなで考えてみましょう！

12月4日(日) 13:30～15:30

場所:6階 サイエンスホール

対象:どなたでも

定員:先着50組(1組3名まで)

料金:無料

参加方法:ホームページより事前申込制

受付期間:11月15日(火)～11月30日(水)

二人の館長が科学の楽しさを語り、科学者になり
たい子どもたちにエールを送ります。

2023年1月21日(土) 13:30～15:30

場所:6階 サイエンスホール

対象:どなたでも

定員:先着50組(1組3名まで)

料金:無料

参加方法:ホームページより事前申込制

受付期間:2023年1月3日(火)～1月18日(水)



福岡市
科学館
FUKUOKA CITY
SCIENCE MUSEUM

〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館

担当:崎山・衛藤

メール:pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp

電話:(092) 731-2525 (代表) FAX:(092) 731-2530

H P:<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp>

